株式会社レックス・インターナショナル

モンゴルにてプロジェクトのキックオフミーティングを行う

設　　立：1995年
資 本 金：1,500万円
従 業 員：23人（2020年現在）
本　　社：東京都千代田区
事業分野：都市・地域開発、農業・農村開発、環境管理、マクロ経済、産業開発、社会開発、観光開発、投資促進、経済財務分析など
募集職種：開発コンサルタント
募集人数：若干名
住　　所：〒102-0075　東京都千代田区三番町24-28 千代田ハヤシビル2階
T　e　l：03-5211-5519
M　a　i　l：recs@recs-intl.co.jp
H　　P：http://recs-intl.co.jp

政策から技術移転まで官民連携にも注力

「開発協力を通じて、より良い世界の実現に貢献する」を企業理念に掲げる株式会社レックス・インターナショナル。1995年の設立以来、総合コンサルティングファームとして政府開発援助（ODA）案件を中心に実績を積み重ねてきた。

同社の事業の最大の強みは、ソフトとハードのバランスが取れている点にある。手掛ける分野は都市・地域開発から国土計画、農業・農村開発、コミュニティ開発まで多岐にわたる。いずれの事業においても、政策の決定から現場での技術移転まで、総合的なサポートを行うことができる点も魅力の一つだ。

昨今では、都市・地域開発事業としてブータンでの全国総合開発計画2030策定プロジェクトや、モンゴルの国家総合開発計画策定プロジェクトなどの実績がある。農業・農村開発分野では、10年以上にわたり、主にサブサハラアフリカ地域で稲作振興の支援業務に携わっている。

今後は、開発途上国での民間開発投資にも積極的に参入していく方針を掲げる。その一環で現在、官民連携による戦略的事業の形成、実施・運営管理に至るまで幅広く手掛けている。事業活動を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献にも力を注ぐ。

“知的体力”と柔軟性、臨機応変さが不可欠

事業を通じて目指すのは、国際社会における日本の役割と地位の向上、相互理解の促進などだ。求める人材像は、多様なバックグラウンドを持つ人々と辛抱強く議論を続けることができる“知的体力”がある人。自身の考えをわかりやすく伝える力はもちろん、現地の視点に立って物事を捉える柔軟性も求められる。想定外の事態に臨機応変に対処する力も不可欠といえよう。

Voice

「35歳で国際協力」を夢にキャリアを構築

もともと食に対する関心が高く、大学や大学院では稲作の研究をしていました。ゼミの指導教授が青年海外協力隊出身で国際協力関連プロジェクトに従事していたことが、この業界に興味を抱いたきっかけです。

卒業後は「35歳までに国際協力の仕事をする」を目標に、まずは新卒で1年ほど貿易商社に勤めました。その後体験した、田舎で働き隊（現・地域おこし協力隊）や公益社団法人が実施した国内外の農業研修事業、青年海外協力隊（フィリピンで野菜栽培隊員）などの活動を通じて、農業の現場で役立つ知識や技術を磨きました。専門分野の軸を食料問題に定め、キャリアに一貫性を持ちながら、その時の自分に足りないスキルを仕事で身に付けてきた結果、長年の夢だった開発コンサルタントになることができました。

今泉 俊輔さん
コンサルタント事業部
コンサルタント

- レックス・インターナショナルに入社
- 青年海外協力隊（フィリピン／野菜栽培隊員）に参加
- 有機農業生産企業で農産物の生産・営農を担当
  伊賀有機農業推進協議会で技術開発・普及を担当
- 公益社団法人国際農業者交流協会実施の国内外農業研修事業に参加
- 「田舎で働き隊」（現・地域おこし協力隊）として愛媛県で地域興しに従事
- 貿易商社に勤務
- 名古屋大学大学院生命農学研究科修了
- 名古屋大学農学部資源生物環境学科卒業

Work

シエラレオネで中小農家の育成支援

2020年度からシエラレオネの稲作振興支援プロジェクトに携わっています。現地の農業普及員を通じて、農家を育成するのが主な業務です。

農家指導には、どのような普及教材を作るかがカギになります。当社の同僚が紙芝居を作成し、まずは普及員に稲の生育に関する基礎知識や肥料の与え方などまでを伝授します。加えて、各普及員にスマートフォンを配布し、アプリ経由で普及員が農家に対して行うセミナーの実施状況や、それを受けての農家の理解度などを報告してもらいます。そのデータを私や当社のチームで収集・分析してモニタリングしています。

出張ベースで業務を進めていくので、海外の現場では目の前の業務に追われがちですが、限られた時間のなかで現地の人たちと信頼関係を築き、ニーズを引き出す必要があります。現場対応力を磨きつつ、中小規模農家の生活が改善するような仕組みを構築していきたいと考えています。

シエラレオネで指導をした普及員が農民にセミナーを行う様子